

## 展覧会紹介

### 郵政博物館が主催した展覧会

#### 【企画展】

明治改元150年展「幕臣たちの文明開化」

期間：2018年4月20日（金）～7月1日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：2018年は、明治元年（1868年）から数えてちょうど150年に当たる。本企画展では、前島密、杉浦謙、渋沢栄一など明治政府において数多くの制度改革に貢献した民部省改正掛の面々、武田斐三郎や竹内卯吉郎など日本の夜明けを演出した幕臣たち、文明開化期に活躍した『郵便報知新聞』の栗本鋤雲らの功績を紹介した。また、本企画展関連イベントとして記念講演会、シンポジウム、ワークショップ等を開催した。



#### 【企画展】

夏期企画展

「どうぶつゆうびん局へようこそ！はしもとみおの木彫の世界」

期間：2018年7月14日（土）～9月9日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：彫刻家はしもとみおの木彫動物作品約400点と郵便業務に使用していた資料をコラボレーションし、夏休みを利用して博物館に来る子どもたちにも郵便のたまかな仕事の種類を見てもらえる展示を行った。



#### 【企画展】

「鐵—鉄道と郵便—」

期間：2018年9月22日（土）～12月24日（月・祝）

会場：郵政博物館（企画展示場、多目的スペース）

概要：鉄道が日本で初めて開通した明治5年から、郵便との関係は始まった。かつて、鉄道を利用して郵便物を運ぶために郵便車が運行される「鉄道郵便」と呼ばれる制度があった。この展示では、鉄道を描いた切手や切手原画、錦絵などのほか、鉄道郵便に関する資料を紹介した。



## 【企画展】

明治改元150年企画展「THE STEAMPUNK—螺子巻奇譚—」

期間：2019年1月1日（火・祝）～4月7日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：明治改元150年を記念し、わが国の電気通信の幕開けを告げる電信電話資料の展示を行った。主な資料として「エンボッシング・モールス電信機」（重要文化財）「国産1号電話機」のほか、無線関連資料を展示した。併せて、子どものための謎解きプログラムや電鍵の体験コーナーなどを設置した。



## 郵政博物館が協力した展覧会

「第68回 全日本切手展2018」

期間：2018年7月20日（金）～22日（日）

主催：全日本切手展実行委員会、一般社団法人全日本郵趣連合、公益財団法人通信文化協会  
会場：すみだ産業会館8階、郵政博物館

概要：全国の切手収集家が、コレクションのテーマと完成度を競うコンクールで、1951年から毎年開催され、今回68回目を迎える。郵政博物館は特別展示として、産業図案切手全種のほか、「16円穂高」と同図案の長野博覧会記念切手のプルーフを加えた産業図案切手の試刷をショーケース展示し、第2会場（郵政博物館）では産業図案切手の原画を展示した。また、会場内の向島郵便局出張所では、全日本切手展の小型印（向島郵便局）の押印サービスを行った。

「第3回 全国折り句コンテスト作品展 ～あなたの愛が日本を温かくする～」

期間：2018年11月22日（木）～11月25日（日）

主催：一般社団法人 日本折り句協会

会場：郵政博物館（多目的スペース）

概要：2018年8月1日～9月30日まで全国で募集した折り句の入賞作品の展示と授賞式を行った。また、言葉を形にするワークショップや手紙にまつわるワークショップを連日開催した。

## 郵政博物館収蔵資料が展示された展覧会

「小磯良平と吉原治良」展

期間：2018年3月24日（土）～5月27日（日）

会場：兵庫県立美術館

概要：小磯良平の油彩画2点「香港黄泥涌高射砲陣地奪取」「郵便外務員を描く」を貸出。

電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム 常設展

期間：2018年4月1日（日）～2019年3月31日（日）

会場：電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム

概要：「火花式コイル送信機切替盤」「コヒーラ／デコヒーラ検波器」「シーメンスモールス受信機」を貸出。

たばこと塩の博物館 特別展「モボ・モガが見たトーキョー モノでたどる日本の生活・文化」

期間：2018年4月21日（土）～7月8日（日）

会場：たばこと塩の博物館（2階特別展示室）

概要：「丸型庇付ポスト模型」ほか一般資料14点、図書資料7点を貸出。

春季企画展「切手から見た奥の細道の世界—奥の細道切手原画展—」

期間：2018年4月21日（土）～7月16日（月・祝）

会場：奈良市杉岡華邨書道美術館

概要：切手「奥の細道シリーズ」原画43件を貸出。

生誕120年記念・作品「花嫁」発表50周年特別企画「落谷虹児の『花嫁』展」

期間：2018年5月26日（土）～10月21日（日）

会場：新発田市・落谷虹児記念館

概要：花嫁を描いたふるさと切手3点「花かげ」（1991年）「花嫁」（1997年）「筑波山と水郷潮来のアヤメ」（2003年）を貸出。

日本郵船歴史博物館 企画展「図案家たちの足跡」

期間：2018年7月21日（土）～10月28日（日）

会場：日本郵船歴史博物館（企画展示スペース）

概要：ポスター「新造豪華客船 新田丸 桑港線就航 姉妹船八幡丸 春日丸 日本郵船」を貸出。

にいがた文化の記憶館 企画展示「日本近代化のパイオニアたち 現代情報化社会の先達—前島密・大橋佐平・大橋新太郎・坪谷善四郎・市島謙吉—」

期間：2018年9月14日（水）～11月11日（月）

会場：にいがた文化の記憶館（展示室）

概要：内国通運会社の広告、書軸「電象の姿図」、前島密二行詩「四海兄弟義」、前島密姓名印等を貸出（一般資料11点、図書資料10点、切手資料27点）。

特別展「没後30年 小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—」

期間：2018年9月15日（土）～11月25日（日）

会場：神戸市立小磯記念美術館

概要：小磯良平の油彩画2点「香港黄泥涌高射砲陣地奪取」「ヨットハーバー」を貸出。

平成30年度企画展「文明開化の力—私たち、江戸時代を卒業します！—」

期間：2018年10月5日（金）～12月2日（日）

会場：千葉県立関宿城博物館

概要：「各地時間賃銭表・郵便開業の布告」「郵便取扱の図」「東京豪商寿語六」等を貸出（実物資料19件、データ3件、模型2件）。

みやざき歴史文化館 企画展「絵はがきの世界」

期間：2018年10月20日（土）～12月9日（日）

会場：みやざき歴史文化館（1階企画展示室）

概要：絵符「定飛脚」、黒塗柱箱、郵便差出箱、「東京開化名所四日市郵便役所」、「東京名所四十八景・京はし」、「舶来和物戯道具調法くらべ」（いずれも複製データ）を提供。

明治150年記念特別展「日本を変えた千の技術博」

期間：2018年10月30日（火）～2019年3月3日（日）

会場：国立科学博物館

概要：「国産1号電信機」「アーリンコート生写電信機」「ガワーベル電話機」「田中久重作報時器」「TYK無線電話機」「屋井乾電池」を貸出。

東京国際郵便局「東京国際郵便局開局50周年記念セレモニー」

期間：2018年11月3日（土・祝）

会場：東京国際郵便局（4階会議室）

概要：郵袋3点、制服上下5着、制帽5個、万国郵便連合像、UPU関連記念切手および切手原画等を貸出（一般資料16点、図書資料4点、切手資料18点）。

切手文化博物館 企画展「兵庫県政150周年記念 明治初期の兵庫の郵便」

期間：2018年11月14日（水）～11月26日（月）

会場：切手文化博物館（特別展示室）

概要：「明治5年郵便線路図」（複製データ）を提供。

明治維新150年記念事業特別企画展「志田林三郎—幕末維新を駆け未来を予見した若き電気工学者—」

期間：2018年12月16日（日）～2019年1月31日（木）

会場：多久市郷土資料館

概要：「エンボッシング・モールス電信機」（オーストリア公使献上品）を貸出。

京都国立博物館 特集展示「初公開！天皇の即位図」

期間：2019年1月30日（水）～3月10日（日）

会場：京都国立博物館（平成知新館1F-4）

概要：固関木契（右片、左片）を貸出。